

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/12/12号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

1800ドル割れもほぼ戻してFOMC待ち

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



週初に米供給管理協会（ISM）が発表した11月の非製造業総合指数（NMI）という製造業以外の産業での景況感を示す経済指標で、非製造業の購買担当者に対するアンケート調査で、市場予想は53.3だったものが56.5という景況感のよい数字が発表されました。金利の上昇にもかかわらず企業活動は依然として活発ということで、インフレ抑制にとっては望ましい数字ではなく、FRBにとってはより踏み込んだインフレ対策＝金利上げが必要であるとの憶測を後押しする結果となり、市場はここまでのインフレのピークアウト、ドル売り、金利下げの流れを逆転するような動きとなりました。ゴールドはその結果1800ドル台から急落、一時1765ドルまで下げました。1800ドルがキープできるかどうか重要であっただけに、やはり1800ドル台には利食いも多く、これだけの下げになったのだと思いましたが、その後は毎日上昇、金曜日には結局一時1800ドルを超え、その下値の堅さをかえって意識させる動きとなりました。週初急騰したドルと長期金利もふたたび下落し、今週の12月のFOMCを目指して、マーケットはじわじわとこの方向に動きました。CME FedWatchでは12月FOMCにおける利上げの確率は50bp（0.5%）（政策金利が4.25-4.5%）が78%、75bp（4.50-4.75%）が22%ということになっており、圧倒的に50bpになる可能性が高いとマーケットは見ています。利上げ幅の縮小を織り込んだ相場が現在続いているのでしょうか。おそらくこれは規定路線であり、ふたたびFOMC後のパウエル議長の経済の現状に関する考えの発表が注目されます。前回の会見ではマーケットの予想を上回るハト派的発言で、ゴールドは急騰しました。このFOMCでもそういう態度になるのかどうか。もしそうなれば1800ドル越えが固定化するでしょう。逆にタカ派的なトーンとなればまた1800ドルは天井になるかもしれません。日本時間木曜日の早朝です。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

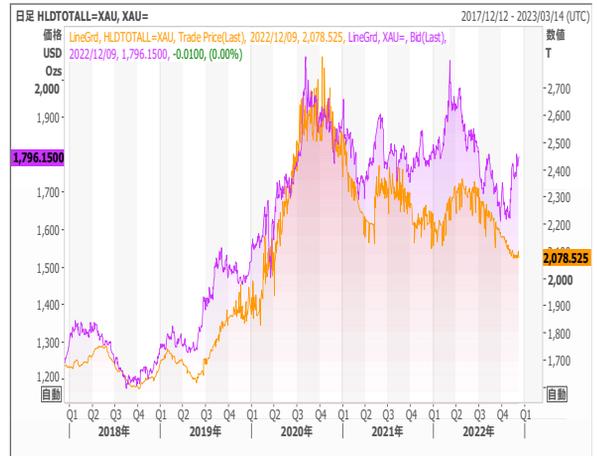
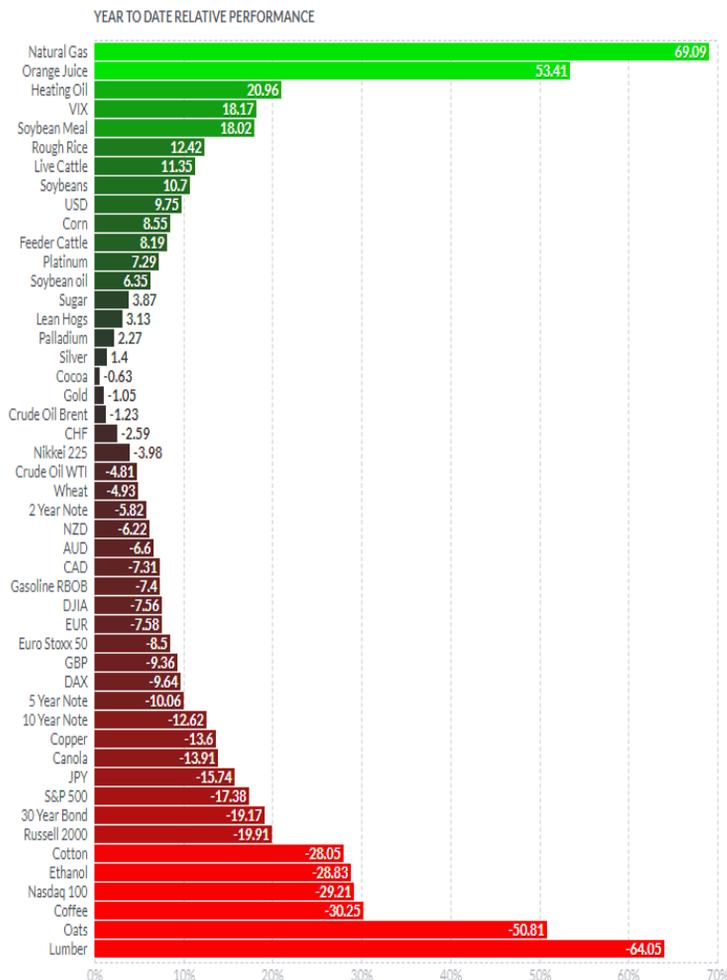
金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「年初からの金融商品パフォーマンス」

ここまでの年初からの米国の先物市場に上場されている商品（金融商品を含む）の騰落率が下のチャートです。最も上昇したのが天然ガス。最も下落したの木材。天然ガスはロシアの影響、木材はコロナショックでの急騰からの反落。上昇したのはエネルギー、穀物、米ドル。下落したのはドル以外の通貨、株価指数、米国債。貴金属は、プラチナ、パラジウム、シルバー、ゴールドの順で、ゴールドがほぼゼロ、その他はプラスでした。株価やドル以外の通貨が大きくマイナスであったことを考えると今年の貴金属のパフォーマンスが全く悪くなかったと言えるでしょう。

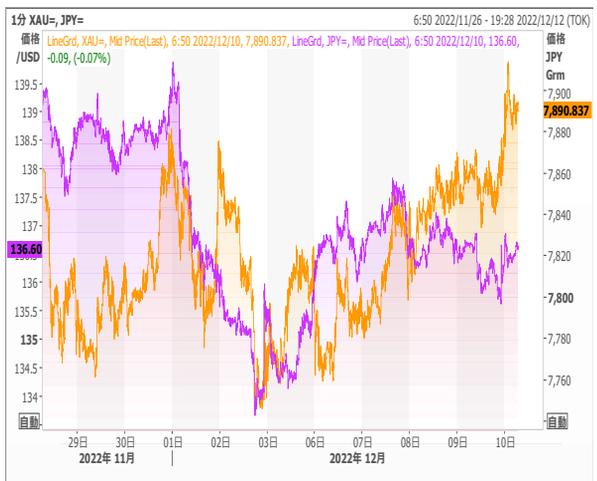
（年初からの騰落率）



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

